



聖学院大学
サステナビリティ推進センター
事業報告書

2023



Contents

P.2 — 刊行によせて サステイナビリティ推進センター 所長 西海洋志

2023年度 主な事業報告

P.3 — Pick-up①「サーキュラーファッションショー」への参画

P.4 — Pick-up②「イケア サステナブルストアツアー」を実施

P.5 — Pick-up③公開講演会「サステナブル・ファッション～人と自然と衣服のつながり～」を開催

2023年度 各事業報告

P.6 — 1 持続可能な開発のための教育(ESD)の推進

「服のたね」プロジェクトへの参加

国連WFP協会とのオンライン勉強会

P.6 — 2 国際協力や地球規模課題解決のためのプロジェクトの実施

学食寄付メニュープロジェクト

P.7 — 3 持続可能なまちづくりにおける連携・協力

イオンモール上尾主催衣料品回収「幸服リレー」への参加

「基礎自治体若手・中核人材育成プログラム」での「SDGs de 地方創生カードゲーム」の実施

P.7 — 4 外部機関や他大学とのネットワーキング

SDGs Week EXPO(エコプロ) 2023への参加

P.8 — 5 SDGsやサステイナビリティの推進活動を行う学生の育成・サポート

SDGs推進活動を行う学生団体Petite Archeへの支援

SDGs関連イベントで活躍する場の提供

P.8 — 6 SDGsやサステイナビリティに関するイベントなどの実施、情報の収集、発信

埼玉県出前講座の実施

第4回SEIGAKUIN SDGsコンテストの開催

P.9 — 2023年度 年間事業一覧

P.10 — 2023年度 メディア掲載・成果物

刊行によせて



西海 洋志

サステイナビリティ推進センター 所長
政治経済学部 准教授

サステイナブルな社会の形成に寄与する 「知の共同体／地域のプラットフォーム」を目指して

幼稚園から大学まで含む学校法人聖学院は、創立120周年(2023年)を迎えるにあたり、今後の教育機関としてのあり方をまとめた「聖学院ビジョン」を2018年に策定し、その中核にSDGsを据えました。また、同じく2018年に国連グローバル・コンパクトに署名・加入し、法人全体としてSDGsの達成に取り組む姿勢を明確にしました。本学(聖学院大学)は「神を仰ぎ 人に仕う」を建学の精神に掲げ、「一人を愛し、一人を育む。」を教育の基軸としています。このような本学の理念と、「誰一人取り残されない」世界の実現を目指すSDGsは、両者の根幹において何ら異なるところはありません。

本学は、上記の教育方針を明確にした上で、2019年度より、学生・教職員が協働してSDGs達成を目指す様々なプロジェクトを展開してきました。まず、2019年に有志の学生・教職員が「学食寄付メニュープロジェクト」を実施しました。これは、学食の売上の一部を国連WFP(世界食糧計画)に寄付することで、発展途上国の学校給食を支援する取り組みです。コロナ禍でキャンパスが使えなかった2020年を除き、毎年、継続的に実施しています。また、2020年はコロナ禍による大幅な制約がありながらも、意欲的な学生が工夫して活動を継続し、SDGs推進学生団体「Petite Arche(プチ・アルシュ)」を立ち上げるに至りました。2021年にはコロナ禍の活動制限が緩和され、学生の活動が多様化・拡大しました。大学としても学内外の連携を拡大・深化し、大学全体として「持続可能な社会と世界」の実現に向けた持続的な取り組みを行っていくために、プロジェクト・ベースの取り組みから脱し、常設の組織を設置する準備をしてきました。

こうした土台づくりを経て、本学は2022年4月に「聖学院大学サステイナビリティ推進センター(Seigakuin Sustainability Center: SSC)」を開設しました。SSCは地域と世界をつなぐ「知の共同体／地域のプラットフォーム」となり、本学の学生・教職員および学外の諸組織・団体との連携・協働を促進し、持続可能な世界の形成に向けた「グローバルな役割」を果たすことを目指しています。そのために、学内の様々な組織や取り組みを有機的に結びつけ、「持続可能な開発のための教育(Education for Sustainable Development: ESD)」のカリキュラム化を推進するとともに、学内外の諸組織・団体との連携を強化・拡大していきたいと考えています。2022年度は、関東学院大学、青山学院大学、豊島株式会社の協力のもと、SSCの開設記念イベントを実施しました。とりわけ古着ファッションショーは、開設記念に相応しい盛り上がりを見せました。その結果、2023年度には、本報告書でまとめたように、地域の自治体や企業との連携を拡大・深化することもできました。

開設からの2年間は多くの方々のご支援、ご協力に支えられ、よいスタートダッシュを切ることができたと考えております。しかし、持続可能な社会の形成に寄与する地域拠点を目指しているSSCは、まだまだ発展途上です。本学の取り組みを加速するためにも、SSCは2024年4月に「聖学院大学サステイナビリティセンター」へと名称変更し(英語表記および略称は変更なし)、さらなる地域連携・地域貢献に邁進していきたいと考えております。今後、SSCがより有意義な役割を果たしていけるように、スタッフ一同、全力で専心してまいりますので、是非とも、皆様のご支援、ご協力を賜れますよう、よろしく願いいたします。



「サーキュラーファッションショー」への参画



写真提供：埼玉県環境部資源循環推進課

さいたまから「古着の魅力」を発信

今年度で2回目となる古着を使ったファッションショー。今年度は11月14日(火)に埼玉県の県庁オープンデーで開催された「サーキュラーファッションショー*」に、埼玉県資源循環推進課より協力依頼をいただき、参画することで実現しました。SSCと学生団体Petite Archelは大学内で行った古着回収で集められた古着や、再生素材で作られた服を使ってショーのテーマに合わせたコーディネートを行ったり、ショーで使用する曲を選んだりショーの運営に他の連携事業者と共に携わりました。また、学生は当日のステージでモデルも務め、ダイバーシティも取り入れながら古着の魅力を伝えつつ、古着を着ることや服の再利用がSDGs達成に貢献する行動につながるというメッセージも発信し、大盛況のうちにショーを終えました。

そして、2024年2月8日(木)にはさいたま市にある埼玉会館で行われた「埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム『第9回シンポジウム』」に、ショーで中心となって動いていた学生2名とSSC教職員が参加しました。学生2名は、第1部の成果報告会で、同じく「プラスチック資源の循環利用促進に関する検討部会」のメンバーである企業や埼玉県庁の方々と一緒に、大野元裕埼玉県知事に対して「サーキュラーファッションショー」についての報告を行いました。報告時には、自分たちの取り組みについてもわかりやすく伝えるために、ショー当日に披露した古着コーディネートを着用して説明するなどし、会場の注目を浴びていました。

本イベントはSSCが取り組む事業3、4、5に関わっています。

イベント概要

日時：2023年11月14日(火)
13:05~13:25

会場：埼玉県庁

本庁舎中庭内 特設ステージ

企画・協力：埼玉県庁、大日本印刷株式会社、丸紅株式会社、森乳業株式会社、ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社、株式会社ISILK、株式会社STORY & Co. NewMake、Petite Arche、SSC



*サーキュラーファッションショーとは、限りある資源を有効活用する社会を目指すサーキュラーエコノミー(循環経済)の考えを取り入れたファッションショーのこと。



「イケア サステナブルストアツアー」を実施



イケアのサステナブルな戦略を知ることを通じて学びを深める機会へ

北欧スタイルの家具や雑貨などを取り扱うイケア・ジャパン株式会社に協力いただき、SDGs・サステナビリティ啓発活動の一環としてIKEA新三郷にて「イケア サステナブルストアツアー」を実施しました。当日は、店舗内のスウェーデンレストランで、ペジドッグやプラントボールなどの環境に配慮してイケアで開発された食品についてのお話を伺いながら実際にランチでいただくところからツアーが始まりました。ストア内ではサステナブルな暮らしに役立つ商品の紹介や屋上に設置された太陽光パネルの見学、また普段は入ることができないバックヤードのゴミ・リサイクル分別エリアへの案内などがありました。ツアーでは、社員の方々からサーキュラービジネスやイケアのビジネスにかかわる人々への公正と平等なども含め、イケアの取り組むサステナビリティについて直接学ぶことができ、貴重な機会となりました。

また、ツアー前にはIKEA新三郷の各部署の代表の方々が集まって行われるミーティングにSSC関係者が出席させていただきました。グループごとに分かれてイケアの「サステナビリティレポート」を読み、意見交換を行った後に全体で共有するワークにも参加し、とても有意義な時間を過ごすことができました。先進的でサステナブルな取り組みを実践されているイケアの方々との交流はSSCにとっても学びが多く、今後も連携を深めながらサステナビリティ推進のために協働して取り組みを行ってまいります。

本イベントはSSCが取り組む事業4、5、6に関わっています。

ツアー概要

日時：2023年9月15日(金)
11:45~15:00

場所：IKEA新三郷

主催：IKEA新三郷、SSC

参加者：19名(学生12名、教職員7名)





公開講演会「サステイナブル・ファッション ～人と自然と衣服のつながり～」を開催



私の服は誰が作ったの？ ～身近な存在である「服」から世界の現状を知るきっかけに～

FASHION REVOLUTION WEEK*1の一環として、FASHION REVOLUTION*2の日本事務局を担う一般社団法人unistepsで共同代表理事をされている鎌田安里紗氏を講師としてお招きし、ファッション産業における現状や世界の取り組みについての公開講演会を実施しました。講演ではファッション産業の問題への関心が高まる契機となったバングラデシュのラナプラザ・ビルの崩壊事故や、労働問題や環境問題などファッション業界で取り巻く問題に疑問を投じる動きなどについても詳しくお話していただきました。

また、私たち消費者が今すぐ起こすことのできるアクションとして、多くの人の労力と膨大な時間を費やす服づくりのプロセスをよく知ることや、そのプロセスについて企業にも問い合わせること、身近でできるサステイナブル・ファッション(服を直して長く着用する、着なくなった服を交換する等)を取り入れることなどを鎌田氏からアドバイスいただきました。

鎌田氏の講演の後には、鎌田氏と学生4名によるトークセッションもステージ上で行われました。鎌田氏は学生からのたくさんの問いにひとつひとつ丁寧に答えながら、大学生のできることとして、自分の住んでいる街の行政の古着回収状況を確認し、回収が行われていなければ回収の願いをしてみることも提案して下さるなど、活発な意見交換が行われました。

本イベントはSSCが取り組む事業1、5、6に関わっています。

イベント概要

日時：2023年4月26日(水)
9:00～10:30
場所：聖学院大学
共催：聖学院大学政治経済学部、SSC
講師：一般社団法人unisteps
鎌田 安里紗 共同代表理事
参加者：114名(学生101名、教職員11名、その他2名)



*1 毎年4月24日を含む一週間(2023年は4月22日～29日)に設定されているファッション産業の問題を考える週間。世界各地で多くのイベントや啓発活動が行われている。

*2 FASHION REVOLUTION(ファッションレボリューション)とは、2013年4月24日にバングラデシュで起こった、ラナ・プラザビル崩壊を契機に立ち上がった社会運動。このような事故を二度と起こさないため、消費者側が企業・ブランド側に生産背景の透明性を問いつつ、ファッション業界を健全なものに変えていこうと2014年に始まった。

1 持続可能な開発のための教育(ESD)の推進

大学のカリキュラムや課外活動にSDGsやESD(Education for Sustainable Development:持続可能な開発のための教育)を導入し、全学的にサステイナビリティについて考えていくための取り組みを行っています。今年度は下記以外に、「緑の流域治水」について学ぶスタディツアーへの参加やSDGsを扱う授業内での協力、学内でのSDGsカリキュラムに関する調査、公開講演会*などを行いました。



「服のたね」プロジェクトへの参加

株式会社ITONAMIが実施する服づくりの過程を体験するプロジェクトに学生および教職員が参加。運営事務局より提供された服の原料となる綿の種から自分たちの手で綿花を育て、収穫した綿は服をつくる糸にするために工場へ送付し、糸から生地をつくる過程を見学する工場ツアーにも参加しました。服づくりを通して、学生は持続可能な社会の形成を自分ごととして学びを深め、教職員も今後のESDの拡充に向け知見を広げることができました。



●プロジェクト概要

綿花の栽培～収穫・送付
期間：2023年5月～12月
参加者：学生およびSSC教職員
*綿花の育て方や発育状況等について運営事務局や参加者とオンラインツールにて随時コミュニケーションを図った。
工場見学ツアー
日にち：2023年12月15日(金)
場所：株式会社森下メリヤス工場 貴志川工場(和歌山県紀の川市)
参加者：学生2名、職員1名
(ツアー全体参加者:15名)

*詳細はP.5「主な事業報告Pick-up③」をご参照ください。

国連WFP協会とのオンライン勉強会

「学食寄付メニュープロジェクト」に取り組む学生団体Petite Archeより、国連WFPの活動について知識を深めたいとの相談があり、国連WFP協会の職員の方とオンラインでの交流の場を持ちました。国連WFPについて学ぶだけでなく、学生からは団体の活動紹介も行い、今後どのような連携ができるかを考えるきっかけにもなりました。



●イベント概要

日時：2023年6月15日(木) 17:00～18:00
会場：聖学院大学(オンライン)
参加者：学生10名、教員1名

2 国際協力や地球規模課題解決のためのプロジェクトの実施

SDGs達成を目指すプロジェクトやサステイナビリティ推進のための活動を学内外の諸組織(学生団体、企業、NPOなど)と連携して企画・実施することを通して、国際協力や地球規模課題の解決に取り組んでいます。今年度は、以下のプロジェクトのほかにSDGs Week EXPO(エコプロ)2030でのブース出展*等も行いました。



学食寄付メニュープロジェクト

本学にて2019年に開始された「学食寄付メニュープロジェクト」では、4号館で学生食堂を運営する株式会社レバストの協力のもと、学生食堂で学食寄付メニューを提供し、その売上金の一部を国連WFP(World Food Programme:世界食糧計画)に寄付することを通して、世界の飢餓に苦しむ子どもたちへの学校給食支援を行っています。4回目の実施となる今年度は、学生団体Petite Archeの学生が中心となって「おいしく食べて寄付につなげる」というテーマのもと企画運営し、食券を手売り販売したり、募金箱も設置して食堂を利用する学生や教職員に募金も呼びかけたりするなどして、積極的に活動しました。

●プロジェクト概要

期間：2023年12月11日(月)～12月15日(金)
場所：聖学院大学4号館1階 学生食堂
企画：Petite Arche、株式会社レバスト、SSC
寄付メニュー：日替わりプレート 430円(うち30円が寄付)
豆腐ドーナツ 150円(うち20円が寄付)

寄付金の総額
8,967円
(寄付メニュー5,630円+募金箱3,337円)
(給食298食分相当の寄付)



*詳細はP.7各事業報告「4. 外部機関や他大学とのネットワーキング」をご参照ください。

3

持続可能なまちづくりにおける 連携・協力

地域の自治体などと協力しながら、SDGsやサステナビリティを推進し、地域の持続可能な発展に貢献するための活動を行っています。今年度は埼玉県庁と連携を強化し、埼玉県主催のイベント等への参画*や「埼玉県プラスチック資源の持続可能な利用促進プラットフォーム」への入会のほか、以下を実施しました。



イオンモール上尾主催 衣料品回収「幸福リレー」への参加

イオンモール上尾が「地球のためにできること」をテーマに4月22日のアースデイに合わせて実施した衣料品回収イベント「幸福リレー」に本学学生が回収の手伝いに参加し、古着を使った裂織の体験ワークショップや、活動紹介なども行いました。また学内で集めた古着およそ240着もイオンモール上尾にお渡しし、サーキュラーエコミーを行う事業者と一緒に回収していただきました。

●イベント概要
日時：2023年4月23日(日)10:00~18:00
会場：イオンモール上尾
主催：イオンモール株式会社
参加者：学生6名



*詳細はP.3「主な事業報告Pick-up①」、P.8各事業報告「5. SDGsやサステナビリティの推進活動を行う学生の育成・サポート」をご参照ください。

「基礎自治体若手・中核人材育成プログラム」での 「SDGs de 地方創生カードゲーム」の実施

本学で行われた基礎自治体マネジメント研究会主催「2023年度基礎自治体若手・中核人材育成プログラム」の第1回定例会にて、「SDGs de 地方創生カードゲーム」の公認ファシリテーターでもある西海SSC所長と若原ボランティア活動支援センター所長が、各自治体より参加する受講者に対しカードゲームを実施しました。

●プログラム概要
日時：2023年5月27日(土)
13:00~17:15
会場：聖学院大学
参加者：14名



5

SDGsやサステナビリティの 推進活動を行う学生の育成・サポート

SDGsやサステナビリティに興味を持っている学生や「好きなこと」とSDGsを掛け合わせたプロジェクトの実施などを通してSDGs推進活動を学内外で行う学生団体へのサポートを行っています。今年度は学生団体Petite Archeが企画したさまざまなプロジェクトへのサポートを中心にを行いました。



SDGs推進活動を行う学生団体 Petite Archeへの支援

Petite Archeは「好きなこと×SDGs」をモットーに、SDGsを身近に感じてもらえるようなプロジェクトを企画しながら、学内外でSDGsの推進活動を行っています。今年度のPetite Archeは昨年度に引き続き、「古着プロジェクト」、「学食寄付メニュープロジェクト」および「野菜づくりプロジェクト」に取り組んだほか、「ベルマーク寄付プロジェクト」も新しく立ち上げ、SSCは各プロジェクトが円滑に進められるように学生のサポートを行いました。



SDGs関連イベントで 活躍する場の提供

埼玉県庁や企業によって実施されるSDGsの啓発・推進のためのイベントを学内で案内し、SDGs推進活動に取り組む学生や学生団体にはイベント内での学生の活動紹介の機会の提供やブースでの運営サポートボランティアの紹介などを行いました。イベントに参加する学生に対しては当日万全で臨めるように事前にリハーサルを行うなどのサポートも行いました。



4

外部機関や他大学との ネットワーキング

SDGsやサステナビリティを推進するためのプロジェクトを通して、他大学や国際機関、企業などの外部機関とのネットワーキングを行っています。今年度はIKEA新三郷店とのサステナブルストアツアー*1や株式会社レバストとの学食寄付メニュープロジェクト*2の企画運営、埼玉県が実施する分科会への積極的な参加などに加えて、以下を行いました。



SDGs Week EXPO (エコプロ) 2023 への参加

2022年度に引き続き、今年度もエコプロで「聖学院大学 Petite Arche」としてブース出展を行いました。今年度は学生団体Petite Archeの活動についてのポスターや「サーキュラーファッションショー」の写真の展示だけでなく、学内で回収した古着を使った「くろみボタン」を制作する体験型ワークショップやSDGsクイズも実施しました。学生たちはブースに来てくださった多くの小中学生に、自分たちの活動紹介だけでなく、一緒に制作することを通して、自分たちの取り組むプロジェクトへの想いや社会課題についても伝えながら積極的に交流し、学生たち自身も楽しみながら学んでいました。はじめての試みであったワークショップが功を奏し、催事期間の3日間、多くの方にブースに足を運んでいただきました。

●イベント概要
日時：2023年12月6日(水)~8日(金)
10:00~17:00
会場：東京ビッグサイト
企画：Petite Arche、聖学院広報センター、SSC
ワークショップ参加者数：87名



*1 P.4「主な事業報告Pick-up②」をご参照ください。 *2 P.6各事業報告「2. 国際協力や地球規模課題解決のためのプロジェクトの実施」をご参照ください。

6

SDGsやサステナビリティに関する イベントなどの実施、情報の収集、発信

学内外でのSDGsやサステナビリティの推進のために、学内外の諸組織(学生団体、企業、NPO・NGOなど)と連携してイベントなどの企画・実施をしています。また、本学における取り組みの発信なども行っています。今年度は以下のイベント実施のほか、公開講演会*の開催や「SDGs & Seig Newsletter 2023-2024」の発行、イベントレポートの発信などを行いました。



埼玉県出前講座の実施

埼玉県より県職員を派遣していただき、「埼玉版SDGs」をテーマに出前講座を開催しました。講座ではSDGsの基本理念などに触れたほか、埼玉県におけるSDGs達成に向けた取り組みの紹介などがあり、プラスチックごみ問題やSDGsに関する生涯学習について、質疑応答も活発に行われました。講座後の県職員の方々を囲んでの交流会では、学生や教職員が参加し親睦を深めることもできました。



●イベント概要
日時：2023年7月12日(水)
10:40~12:10
会場：聖学院大学
主催：SSC
共催：聖学院大学政治経済学部
政治経済学科
参加者：53名

*詳細はP.5「主な事業報告Pick-up③」をご参照ください。

第4回SEIGAKUIN SDGsコンテストの開催

「教えて あなたの SDGs」というテーマで「第4回聖学院SDGsコンテスト」を開催しました。今年度はフォト&ムービー部門、ソーシャルアクション部門、英語スピーチ部門の3部門で募集を行い、多くの方からの参加がありました。SSCからは副所長と委員の教員2名が審査員として参画しました。

●イベント概要
応募期間：2023年9月1日~10月4日
主催：学校法人聖学院広報センター
共催：教育デザイン開発センター、SSC



年間事業一覧

2023年	日	事業など
4月	23日	イオンモール上尾主催古着回収イベント「幸服リレー」への参加
	26日	公開講演会「サステイナブル・ファッション～人と自然と衣服のつながり～」(共催:政治経済学部)
5月	19日	「服のたね」プロジェクトへの参画
	27日	基礎自治体マネジメント研究会「基礎自治体若手・中核人材育成プログラム」第1回定例会(カードゲーム「SDGs de 地方創生」の実施)
	30日	2023年度学長裁量経費事業計画「『服のたね』プロジェクト」の採択
6月	15日	WFP協会とのオンライン勉強会
	22日	カードゲーム「2050カーボンニュートラル」体験会への参加
	23日	授業「国際ボランティア入門」への協力
	24日	2023年度聖学院大学ボランティア・まちづくり活動助成事業審査会(審査員として参加)
7月	11日～28日	第3回古着回収
	12日	埼玉県出前講座・埼玉県庁職員との交流会
	22日	オープンキャンパス「学生による地域連携取り組み紹介」での学生発表
8月	5日	オープンキャンパス「学生による地域連携取り組み紹介」での学生発表
	19日	
9月	9月1日	第4回聖学院SDGsコンテスト(主催:聖学院広報センター、共催:聖学院教育デザイン開発センター、聖学院大学サステイナビリティ推進センター) <10月4日まで>
	15日	IKEA新三郷でのサステナブルストアツアー
10月	10月23日	ベルマーク寄付プロジェクト<2024年1月31日まで>
	28日	埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム「フードロス削減」分科会主催フードロス削減啓発イベント ボランティア参加
11月	11日～12日	SAITAMA環境エコフェス&こどもエコフェスティバルへの参加
	14日	県庁オープンデーでの「サーキュラーファッションショー」・資源循環ワークショップ(くるみボタン制作体験)
12月	6日～8日	SDGs Week EXPO (エコプロ) 2023への参加
	11日～15日	学食寄付メニュープロジェクト
	15日	「服のたね」プロジェクト 森下メリヤス和歌山工場見学
2024年		
1月	15日	2023年度聖学院大学ボランティア・まちづくり活動助成事業報告会(審査員として参加)
	22日	埼玉県プラスチック資源の持続可能な利用促進プラットフォームへの入会
	27日～28日	熊本県人吉市での「緑の流域治水スタディツアー」への参加
2月	8日	埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム成果報告会「第9回シンポジウム」での報告
	14日	聖学院中学校「L.L.T.(Learn, Live Together)」での授業協力
3月	30日	「SDGs & Seig Newsletter 2023-2024」の発行

メディア掲載・成果物

メディア

●テレビ報道

2023年4月26日(水)に開催された公開講演会「サステイナブル・ファッション～人と自然と衣服のつながり～」の様子が以下の番組にて紹介された。



公開講演会フライヤー

J:COM (2023年4月28日放映)

「地域ニュース 聖学院大学でのサステナブルなファッションについて考える講演会」

LIVEニュース/埼玉県内J:COMサービスエリア

●新聞

2023年11月14日(火)に埼玉県庁のオープンデーにて実施された「サーキュラーファッションショー」について以下の紙面にて取り上げられた。



「サーキュラーファッションショー」でモデルを務めた学生

「翔んで埼玉」続編PR 出演者ら登場 県民の日、県庁で知事と魅力語り合う

日本経済新聞/11月15日 朝刊/P.40

参照URL: <https://www.nikkei.com/article/DGKKZ076113820U3A111C2L72000/>

“続編”前に盛り上がり 県庁開放多彩な催し楽しむ

埼玉新聞/11月15日 朝刊/P.15

参照URL: <https://www.saitama-np.co.jp/articles/54612/postDetail>



埼玉県庁作成 展示ポスター

サーキュラーファッションショー 古着を再利用してSDGs促進 聖学院大学

大学新聞/12月10日/P.2

研究報告

サステイナビリティ推進センターの取り組みについて以下の研究報告にて紹介された。



SDGs & SEIG Newsletter 2023-2024

SDGsへの当事者意識と関連する学問領域との乖離

柴田怜/情報コミュニケーション学会第21回全国大会/2023年



県庁オープンデーでの資源循環ワークショップの様子



「イケア サステナブルストアツアー」での様子



公開講演会の様子

聖学院大学サステイナビリティ推進センター 事業報告書2023

発行元／ 聖学院大学サステイナビリティ推進センター
発行日／ 2024年3月31日



Love God and Serve His People

聖学院大学

一人を愛し、一人を育む。

お問い合わせ

サステイナビリティ推進センター
(1号館1階1103教室)

TEL: 048-780-1050

月～金 (9:00～17:00)

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1番1号

E-mail: sustainability@seigakuin-univ.ac.jp

URL: <https://www.seigakuin.jp/about/sdgs/ssc/>

※2024年4月1日より聖学院大学サステイナビリティセンターに名称変更

